

# 期待される「バンコク支所」を目指して

平成27年4月にバンコク支所を立ち上げてから約半年が経ちました。この間の活動をご紹介します。

## 「都産技研ってなにをしてくれるの？」

開設当初は、「都産技研ってなにをしてくれるの？」という質問が多々ありました。これまで、日系企業への訪問や展示会で都産技研の紹介を行い、技術支援を行う公設試験研究機関であることを説明してきました。現在では、問い合わせや相談も増え、バンコク支所の職員3名で対応しきれない部分は、本部と連携しながら、中小企業への支援を行っています。

## 展示会出展

5月のINTERMACH 2015、6月のMANUFACTURING EXPO 2015に出展し、バンコク支所の知名度向上、顧客獲得に努めました。いずれの展示会でも、タイ企業と日本企業とのビジネスマッチングが行われ、日本の自治体が企業を引率して行く例もあり、大盛況でした。



INTERMACH 2015のBSID\*ブース MANUFACTURING EXPO2015の  
BSID パワット所長(左から2番目)と 都産技研ブース  
バンコク支所職員

\*BSID: タイ国工業省産業振興局裾野産業開発部

## バンコク支所開設記念セミナー

バンコク支所開設記念セミナー第1弾として、8月に「タイでの日本流品質管理の展開」と題したセミナーを開催、同時にRoHS相談会も実施し、70名以上の方にご参加いただきました。

岡野 雅一 MTEP 専門相談員によるセミナーでは、品質を定着させるには、5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)の徹底が必要で、この5Sの推進によってQCD(Quality, Cost, Delivery: 品質、価格、納期)が改善できると解説しました。

相談会では、RoHSに悩んでいる企業からの相談を受け、「取引先の企業のランク付け」、「工場監査」、「ドキュメント管理」が重要とアドバイスをしました。



セミナーの様子

## COLUMN

### サヌックでサバーイなタイ人気質

「マイペンライ(大丈夫、気にしない、気楽に、しょうがない)」、「サヌック(楽しい)」、「サバーイ(気持ちいい)」という言葉がタイでよく耳にします。生活だけでなく、仕事においても「サヌック」、「サバーイ」でなければ仕事じゃない、という感じです。日本の若者気質と似ているかも知れません。

日系企業の中には、このタイ人の気質を理解し、タイ人とうまく付き合っている会社、タイ人とうまく付き合えずギクシャクしている会社とさまざまなようです。



休日には、映画「戦場にかける橋」の舞台カンチャナプリの鉄橋(写真左)やタイ北部のメーホンソンの少数民族(写真右)の居留地などを訪れました。

### 開発型企業のASEAN地域への進出支援

開設からこれまでに多数の企業、試験機関、タイ駐在の大学・県・銀行等の事務所を訪問し、連携を深めてきました。

企業へのインタビューから、1) 転職の問題、2) 技術スキルの問題、3) 品質の問題、4) 日本のやり方が通用しない問題など、共通した課題で困っていることがわかりました。これらの課題に対し、ソリューションを提供すべく、過去の経験を踏まえつつ横展開案を作成しています。

バンコク支所は、技術支援を行う機関として皆さまに「期待される」ように頑張っていきます。中でも、開発型企業にASEAN地域へ進出していただくべく、現在、地ならし作業を進めています。これからも企業の皆さまのご利用をお待ちしています。

バンコク支所長 西野 義典